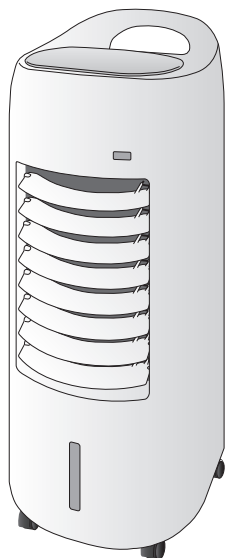




リモコン冷風扇 FCR-HT40



取扱説明書

保証書付

もくじ

- 安全上のご注意……………①～②
- 冷風扇のしくみ……………②
- 使用上のご注意……………③
- 各部の名称……………④～⑤
- 使いかた……………⑥～⑩
- お手入れ……………⑪～⑫
- 故障かな?と思ったら/仕様…⑬
- アフターサービスについて…⑭
- 保証書……………裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY



家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは、弊社冷風扇をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上の注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

	警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取り扱いをしたときに傷害や物的損害に結びつく可能性のあるもの

図記号の説明



禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



幼児の手の届く所で使わない

感電やけがの原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



吹き出し口などのすき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。お子様のいるご家庭では特に注意してください。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがをすることがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。

⚠ 警告



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは乾いた布で拭き取る

ほこりを
とる

火災の原因になります。



異常時（水漏れ、コゲくさい臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお
買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意



不安定な場所に置かない

転倒したり、水漏れの原因になります。

禁止



電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグを
持って引き抜く

プラグを
持って抜く

感電やショートして発火する原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

プラグを
抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



吹出口をふさがない

紙や布などでふさぐと故障の原因になります。

禁止



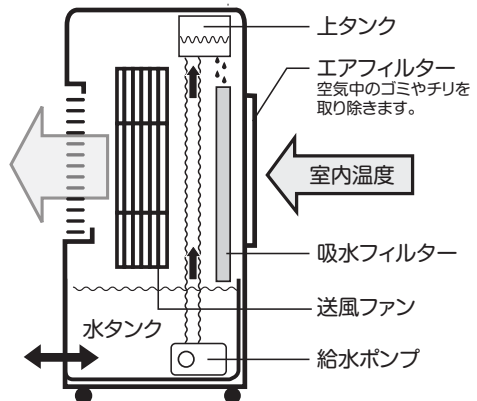
高温多湿・水のかかるところでは使用しない

漏電・感電・火災の原因になります。

禁止

冷風扇のしくみ

- 水タンクの水を給水ポンプでくみ上げて上タンクに供給します。
- 上タンクに開けられた穴から水が落下して吸水フィルターを湿らせます。
- 湿ったフィルターを風が通り抜ける際、水の蒸発によって気化熱を奪われ、風の温度が下がります。

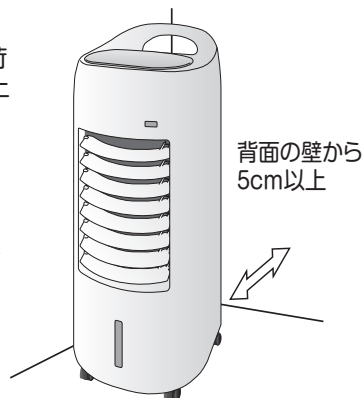


使用上のご注意

- 水タンクに長時間水を入れたままにしますとカビやにおいの原因になります。2～3日に1度は、新しい水と入れ替えてください。また、同様に2～3日使われなかったときも新しい水と入れ替えてください。
しばらくお使いにならないときは水を抜いてから、送風運転して吸水フィルターを充分乾燥させてください。
- 冷風運転のときは、水タンクに水を入れてください。入れない場合は、冷風にはなりません。(冷風ランプが点滅します)
- エアフィルターにホコリ等がたまりますと、異常過熱や故障の原因になります。フィルターは定期的に掃除してください。
- 周囲温度や湿度が高いときには、水タンクの外側が結露することがあります。その際は、水タンクの外側に付着した結露水をふき取ってください。
- 水を使用するため、本体や本体の周りに水がかからないように、ご注意ください。水がかかった場合は、乾いた布などでふき取ってください。
- 吸水フィルターが完全にセットされていなかったり、吸水フィルターに水が浸透していないと水滴が飛び散ることがあります。
※吸水フィルターが水をはじくようであれば、一度吸水フィルターに水道水を流して浸透させてからご使用ください。

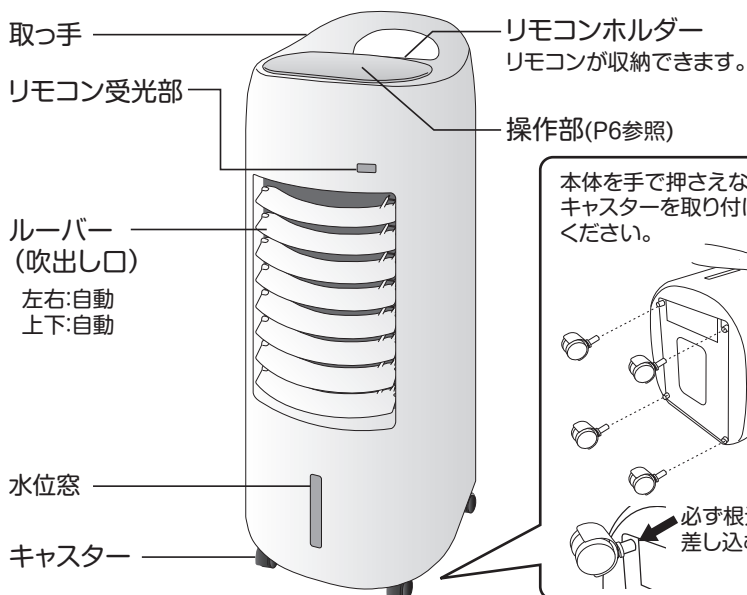
■設置のしかた

- 平らな場所に置いてください。転倒して水がこぼれたり、キャスターが動いて、思わぬけがの原因になることがあります。
- 本体の背面側から空気を吸入します。タオルや衣類等をかけてふさいだり、壁にぴったり付けるとモーターに負荷がかかり、異常発熱の原因になります。壁からは5cm以上離して置いてください。
- 前面にもタオルや衣類等をかけて吹出し口をふさいだ状態でご使用にならないでください。また、操作パネルにあるリモコンの受光部もふさいでしまうと、リモコンがきかなくなるので、ご注意ください。
- 本体の上に重いものをのせたり、寄りかかたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所に設置しますと、本体の変質・変色の原因になります。

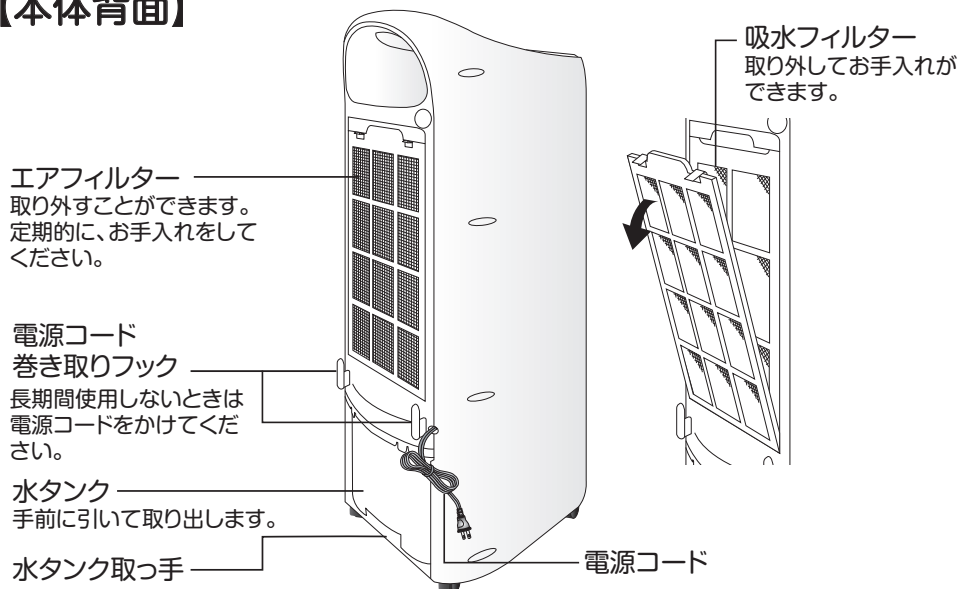


各部の名称

【本体正面】

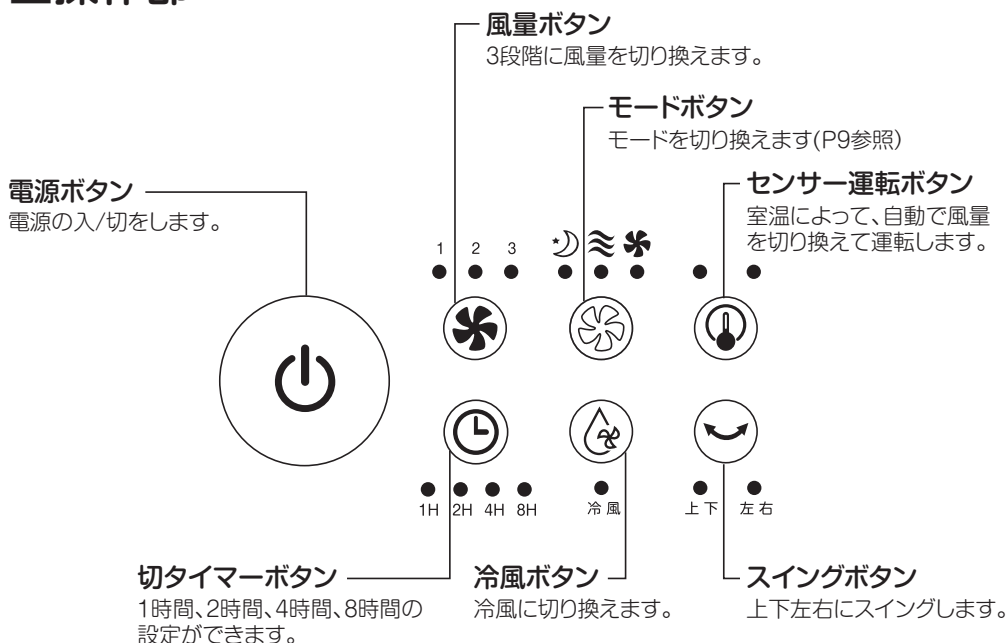


【本体背面】



各部の名称

■操作部

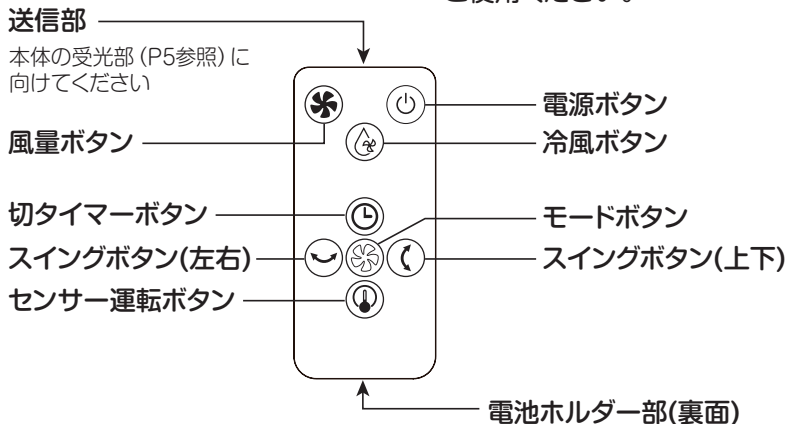


ボタンの操作

本体の操作ボタンはタッチセンサー式です。ボタンを指先全体でしっかりと触れてください。触れる面積が小さいときは、反応しないことがあります。

■リモコン (P8「使いかた」参照)

保護シートを取り外してからご使用ください。

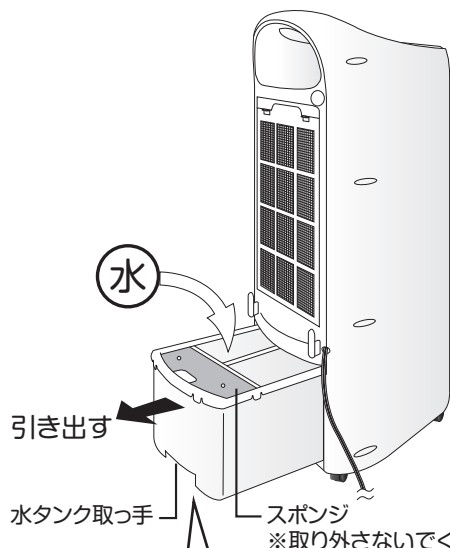


使いかた

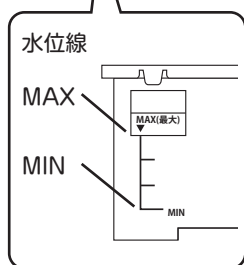
お使いになる前に

安全上の注意をよくお読みになり、水平で安定した場所に設置してください。

1 水の入れかた (冷風運転をするときは必ず水を入れてください)



- ① 水タンク取っ手を持ち、水タンクを取り出して水を入れてください。
※勢いよく引っ張ったり無理に引き出さないでください。
破損などの原因になります。
- ② 水量は、水位線の“MIN”と“MAX”の範囲内になるよう注意してください。
(満水量は、約4.8ℓ)
- ③ 水タンクを本体に戻してください。
※水タンクの先端が本体にあたるまで、しっかりと押し込みます。
※押し込みが弱いとポンプが降りないことがあり、冷風になりません。



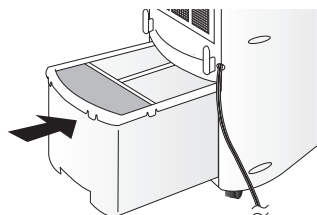
⚠ 注意

- ・電源プラグを濡らさないように注意してください。
- ・水量が“MIN”以上入っていないと冷風運転になりません。また“MAX”以上入ると水漏れや故障の原因になります。

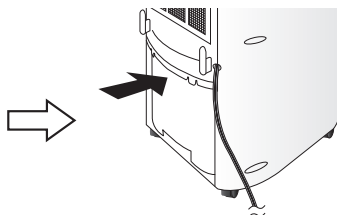
使いかた

2 水の抜きかた (必ず電源を切ってください。)

- ①前ページの「水の入れかた」同様に、水タンク取っ手を持ち、水タンクを引き抜きます。(水がこぼれないよう慎重に引き抜いてください。)
- ②水タンクの水を排水場などに捨ててください。
- ③水タンクの内側に水あかなどがあれば、布などでふき取ってください。
- ④使用を続ける場合は水を入れて、水タンクを本体に戻します。



①水タンクを前傾させて先端を本体に差し込みます。

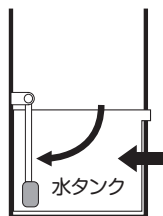


②水タンクの先端が本体にあたるまで、しっかりと押し込みます。
※押し込みが弱いとポンプが降りないことがあり、冷風になりません。

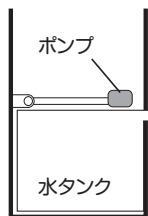
- 水タンクに長時間水を入れたままにしますと、腐敗してカビやおいの原因になります。水タンクに残った水は、できるだけ毎日捨てて、新しい水と入れ換えてください。また、2日以上お使用にならないときは水を捨ててから、水タンクの底部に残った水をふき取り、吸水フィルターを十分に乾燥させてください。

ポンプについて

- 水をくみ上げるポンプは、水タンクを差し込むと、水タンクに降りてきます。(図1)
※水タンクをしっかりと押し込んでください。しっかりと押し込まないとポンプが降りないことがあります。(図2)
- 水タンクを抜き取ると、ポンプは上部に固定されます。(図3)
※水タンクを差し込むときに、ポンプが降りているようであれば、ポンプを手で上げてから、水タンクを差し込んでください。



水タンクをしっかりと押し込んだとき(図1)



水タンクの押し込みが弱いとき(図2)

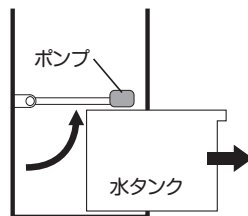
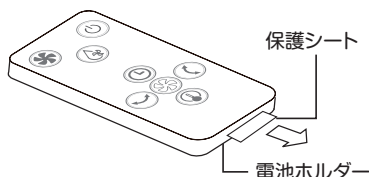


図3 (水タンクを抜いたとき)

使いかた

3 リモコンの使いかた

電池の保護シートを引き抜いてください。



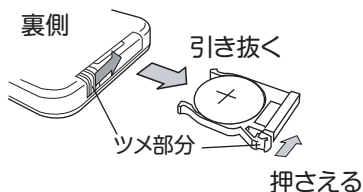
※保護シートを抜き取ってもリモコンが動作しない場合は、一度電池を取り出し表面を乾いた布などでふいて、正しくセットしなおしてください。

ご注意

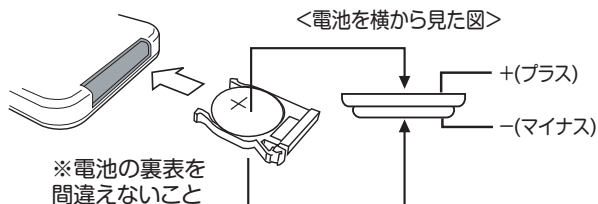
本製品に最初から付属している電池はテスト用のため、新しい電池に比べて寿命が短い場合があります。リモコンが動作しにくくなった場合は新しい電池と取り換えてください。

【電池の交換方法】

- ① ツメ部分を矢印方向に押さえながら電池ホルダーを引き抜きます。
- ② 新しい電池を正しい向きに電池ホルダーにセットし、リモコン本体に差し込みます。



※リモコンを裏向きにした状態



交換用電池について

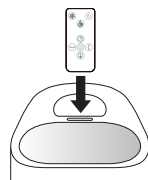
電池が消耗しましたら、市販のボタン電池CR2025をお買い求めください。

■ 次のようなところでは、リモコン操作ができないことがあります。

- ・ 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- ・ インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。
- ・ 本体の受信部に直射日光などの強い光があたる場所。

【リモコンの収納】

操作部の上部にリモコンを収納することができます。



お願い

- 電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。その際は電池を交換してください。
- リモコン送信部にキズをつけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。
- 乳幼児の手の届くところにリモコンを置かないでください。電池の誤飲を招くおそれがあります。

使いかた

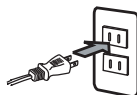
本体操作部分での操作を説明しています。
リモコンでも同様の操作ができます。

送風運転

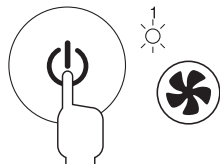
ファンによる送風のための運転です。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

しっかりと差し込んでください。



2 運転する



電源ボタンに触れると「風量1」で連続運転が始まります。
このとき、「1」ランプとモードランプが点灯します。
(メモリー機能あり:10ページ参照)

ボタンの操作


本体の操作ボタンはタッチセンサー式です。スイッチを指先全体でしっかりと触れてください。触れる面積が小さいときは、反応しないことがあります。


3 風の種類を選ぶ



モードボタンに触れるごとに風の種類を選ぶことができ、
現在のモードランプが点灯します。

連続風 () → 一定速の風量を連続して送ります。

リズム () → 風量をランダムに変化させ、自然な風を送り出します。

おやすみ () → 風を時間とともに徐々に小さく(風量2→1)していきます。

4 風量を調節する



風量ボタンに触れるごとに風の強さが3段階にかわり、
風量に対応したランプが点灯します。

風の強さ 1 2 3
弱い  強い

5 上下左右にスイングする

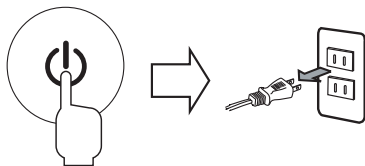


スイングボタンに触れるごとにスイング方向が変わり、
方向に対応したランプが点灯します。

→ 左右 → 上下 → 上下左右 → 停止

6 運転を停止する

電源ボタンに触れて電源を切ってから、
電源プラグをコンセントから抜いてください。



使いかた

冷風運転 周囲温度よりやや低い自然な冷風を送り出します。



冷風

- 冷風ボタンに触れてください。
冷風ランプが点灯して冷風を送り出します。
- ボタンに触れるごとに、作動と停止が切り換わります。

※この機能を使用する場合には、必ずタンクに水を入れてください。
※水量が水位線の“MIN”の位置より少ない場合は、ポンプが水をくみ上げられないため、冷風運転にはなりません。(給水してください。)

センサー運転 温度センサーで感知した室温に応じて、自動的に風量を変えて運転します。



- センサー運転ボタンに触れてください。
センサー運転ランプが点灯して、センサー運転を開始します。
- ボタンに触れるごとに、作動と停止が切り換わります。

※センサー運転時は、手動で風量の切り換えができません。
※室温が低い時(20℃未満)は運転を停止しますが、室温が上がると運転を再開します。

タイマー運転 設定した時間が経過すると停止します。

設定時間:1・2・4・8時間



- 切タイマーボタンに触れてください。
切タイマーランプが点灯して、タイマー運転を開始します。
- ボタンに触れるごとに、設定時間が切り換わります。

→ 1H → 2H → 4H → 8H → 設定解除

メモリー機能について

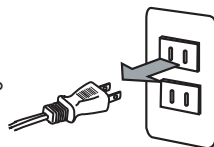
- 電源プラグを抜かずに、運転する場合は停止前の設定で運転が始まります。
- 電源プラグを抜くと、初期状態に戻ります。

※タイマーの設定時間は、メモリーされません。

お手入れ

1 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際には電源プラグは必ず抜いてください。
感電やけがの原因になります。

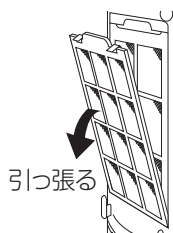
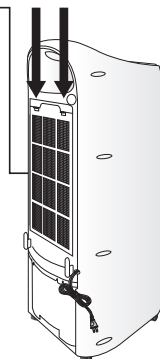


電源プラグをぬれた手で、抜き差ししないでください。感電の原因になります。

2 エアフィルターの掃除をする

- エアフィルターが汚れてくると風の通りが悪くなり、故障や発熱等の原因になります。定期的を確認して、ホコリやチリ等でつまってきたら掃除機で吸い取るか水洗いしてください。
- 水洗いした場合は、充分乾燥させてから取り付けてください。
- エアフィルターは、右図の印部分の固定ツメを押し下げながら手前に引いて取り外してください。

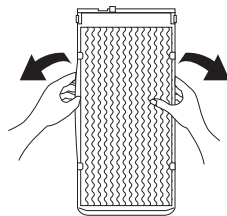
ツメを押し下げる



3 吸水フィルターのお手入れをする

■取り外しかた

- ①エアフィルターを外してください。
- ②吸水フィルター枠上部を手前に引いて取り外してください。
- ③吸水フィルター枠を広げながら、吸水フィルターを取り外してください。



■洗いかた

- 流水で汚れを流してください。
- 落ちにくいときは、薄めた中性洗剤やぬるま湯にしばらくつけておいてから洗ってください。その後、洗剤を水でよく洗い流してください。
- 充分に乾燥させ、再び取り付けてください。

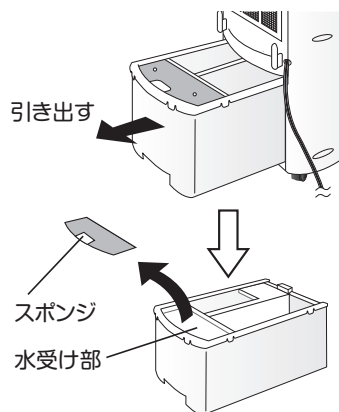
お手入れ

4 水タンクのお手入れをする

水タンクを外して (P6、P7参照) 排水してから、水タンク内部と水受け部分を柔らかい布でふいてください。スポンジの汚れは水で押し洗いして、乾燥させて取り付けてください。

※汚れを放置すると穴がつまりたりして水漏れの原因になりますので、定期的にお手入れしてください。

※スポンジは、必ずセットしてご使用ください。



水タンクの水の交換を怠ると、水あかや空気中のホコリによって水位センサーが固まって動かなくなったり、水を循環させるパイプなどが詰り冷風運転ができないことがあります。また、カビやにおいの原因になりますので、水の交換は、こまめに行ってください。

5 本体のお手入れをする

- ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を固くしぼって汚れをふき取り、からぶきをしてください。
- ベンジンやシンナー、みがき粉、金属たわしなどは使わないでください。

6 保管する

- 水を抜いてよく乾かしてください。特に吸水フィルターは水分を含んでいますのでカビが発生しやすいため注意してください (水の抜きかたはP7の使いかた参照)。水を抜いた後、しばらく送風運転をして風を通しますとフィルターを乾燥させることができます。長時間ご使用にならないときも同様です。
- 保管する際は、ポリ袋などに入れて、直射日光をさけ、湿気の少ないところで保管してください。



電源コードは、きつくしぼったり折り曲げたりしないでください。故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

電源が入らない

- 電源プラグはコンセントからはずれたり、ゆるんでいませんか。
→コンセントにしっかりと差し込んでください。
- 電源ボタンを押しましたか。
→電源ボタンを押してください。

風が涼しくない

- タンクに水が入っていますか。
→タンクに水を入れてください。(P6参照)
- 気化熱によって温度を下げるため、気温・湿度によって冷え方に影響が出ます。

風が弱い

- エアフィルターにホコリ等がたまっていますか。
→エアフィルターを掃除してください。(P11参照)

冷風運転にならない

- 水量が不足していませんか。
→注水してください。水が入っていても“MIN”の位置より低いときは冷風運転にはなりません。

風の音がうるさくなった

- エアフィルターにホコリ等がたまっていますか。
→エアフィルターを掃除してください。(P11参照)

リモコンが
きかない

- リモコンに電池は入っていますか。
→ボタン電池CR2025を入れてください。(P8参照)

冷風ランプが
点いたり消えたり
する

- 水量が不足していませんか。
→注水してください。水が少なくなったためで故障ではありません。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

仕様

定格電圧	交流100V	電源コード長	1.8m
定格周波数	50/60Hz	本体質量	約6.2kg
消費電力	50W		
本体寸法	幅275×奥行350×高さ740mm		
水タンク容量	4.8L(有効水量:3.0L)		

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口
0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合は正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。